

・令和7年度なごみの郷事業計画書

令和6年度は、就労系通所の利用登録、利用延べ人数において伸び悩みがありました。法人のB型を利用する方の傾向として、心身面の不安定さを抱えながら利用する方や、ひきこもりがちな状態から一步を踏み出した方のニーズが多くみられます。更に近年、地域のA型就労事業所が充実してきたことにより、移行する方もみられるようになり、以前のようにB型を長く安定的に利用するケースが、少なくなってきました。反面、くろゆりにみられる、地域の中でほっと一息つける、話せる、仲間の中で過ごせる居場所を求めるニーズの高さも感じられ、地域活動支援センター事業の登録者数は、年々増えています。就労事業においては、作業を安定的にこなし、工賃向上をしていくことと、やっと一步を踏み出した方等への支援を手厚くすることとの両立で、難しい運営が求められています。グループホームは、地域移行のためのニーズは高く、途切れることのない申し込みがありますが、採算が取れない為精査が求められています。相談支援事業は、重層支援体制整備に伴い相談支援の役割も質量ともに多様な働きが求められ、報酬単価増や、市の委託費においても単価報酬の上乗せなど補われておりますが、多くの相談ニーズにあたるマンパワー不足が課題となっています。

また、障がい者支援の枠を超え、生活困窮者やひきこもりがちな方々の社会参加に向けた就労面、地域の居場所事業は、喫緊の社会問題として行政も力を入れており、市の委託費による安定的な運営ができていますが、ますます地域社会への理解促進活動と、利用者の社会参加を後押しする創意工夫による事業取組が求められています。今年度は、そういった面で大きな事業であった、くろゆり隣接の『地域活動支援センターハレマ』がおかげさまで竣工し、ひきこもり等の居場所支援が、小松市の委託を受け本格的にスタートできることとなりました。

令和7年度は、今年度の課題を見据え、先ず新事業を行う『ハレマ』を通して、ひきこもり等支援（相談支援・居場所支援）が、地域に認知され効果的に運営していけるよう力を注ぎたいと思います。そして、障がい福祉サービスにおいては、地域の実情を踏まえ、望まれる事業展開と採算性を考え、伸び悩む事業の見直しを進めていきたいと思っています。

全般的には、各事業を支える人材確保、質の担保は厳しさを増すため、併せて業務のスリム化、効率化も行っていく必要があります。見直しも進めてまいりたいと思います。今後も、社会福祉法人としての役割を果たしていけるよう、経営の安定と共に、職員一人一人が利用者・地域から信頼される人材として活躍していけるよう努力してまいります。

行 動 方 針

- ・私たちは、「社会参加」を支援の中心に行動します。
- ・私たちは、「ホスピタリティの精神」を大切に行動します。
- ・私たちは、当事者の「主体性」と「対話と共感」を持って行動します。
- ・私たちは、「学び」と「実践」の両輪で行動します。

1【就労支援センターつばさ】就労継続支援（B型）事業

基本方針

- ・「安心→自信→回復」を目指して利用者ニーズに応える事業活動を進めます。
- ・共生・共助の地域作りに努め、地域に開かれた事業所としての取り組みを行います。

重点実施事項

- ① 利用者のスモールステップの為、作業や日々の会話の中で安心が自信に繋がる声掛けと仕組み作りに取り組みます。
- ② 一人ひとりに関心を持ち、それぞれの歴史や大切にしているものをしっかりきき取り、これからの希望になり得るものを共に考えチームで共有します。
- ③ 地域課題の発見に努め、地域の一員としての役割を担うことで、施設の意義・障害への理解を深めていけるような活動に取り組みます。

2【能美地域活動センターはまかぜ】就労継続支援（B型）・地域活動支援センター事業

基本方針

- ・思いやりの心を第一に利用者に寄り添う専門的なサービスを提供し、利用者から選ばれる事業活動を進めます。
- ・利用者の仲間づくりの場として、お互いに研鑽し成長しあえる活動を進めます。
- ・利用者が地域で偏見や差別なく安心して豊かに暮らしていけるよう、障がい者の理解啓発活動を進めます。

重点実施事項

- ① 利用者の利用を増やせるよう、心身の体調を整えながら安定して作業に向き合える環境作りを大切にし、工賃向上と魅力ある作業メニューの提供を進めていきます。
- ② 利用者同士の交流や、抱える悩みを共有しながら、安心して自己有用感を感じながら通所できる事業所づくりを進めます。
- ③ 障がい者理解促進、社会参加のため販売会や地域の行事活動に参画し地域との関係作りを進めます。

3【能美地域活動センターはまかぜ山口分場】就労継続支援（B型）事業

基本方針

- ・思いやりの心を大切に専門的なサービスを提供し、利用者が安心して、いきがいを持って通える活動を進めます。
- ・利用者同士が一緒に働く仲間として協力し合え、それぞれが成長していける事業所（職場）であることを大切にします。
- ・利用者が地域で偏見や差別なく安心して豊かに暮らしていけるよう、障がい者の理解啓発活動を進めます。

重点実施事項

- ① 利用者同士で、仕事や生活の目標や希望、課題（困りごと等）を話し合え、互い認め合いながら進んでいける機会を設け進めます。

- ② 新たな利用者を増やせるよう、事業所の特色を関係機関に知ってもらえるよう発信していきます。
- ③ 地域の行事・活動に参加・協力し、障がい者、事業所を理解してもらえる機会と関係作りに努めます。

4 【グループホームなごみ・しらさぎ】指定共同生活援助事業

基本方針

- ・ 利用者の体調や日常生活を整え、安心・安全な生活が送れるよう支援します。
- ・ 和やかな雰囲気ですぐ語り合えるグループホームを目指します。
- ・ 利用者が北浅井町の一員として知ってもらえるための働きかけをします。
- ・ 個々の障害特性に応じた支援が行える様に支援の質を高めていきます。

重点実施事項

- ① 健診（特定健診・歯科検診）を推奨します。体調不良の時には早期受診を促します。居室清掃等環境面の整備、洗濯・入浴等衛生面の強化、運動を生活に取り入れていきます。
- ② 利用者との関りの中で笑いを取り入れていきます。
- ③ 地域のイベントの周知・参加等を促します。
- ④ 支援の振り返りと検証を定期的に行っていきます。

5 【地域活動センターくろゆり】生活介護・地域活動支援センター・ひきこもりステーション事業

基本方針

障害の有無に関わらず、地域で生きづらさを抱えた方が、自分の存在を受け止めてもらえる安心感と、仲間と過ごす喜びを感じる場作りをします。また利用者と地域住民とのゆるやかな交流が生まれる活動を行い、地域に根ざした資源として、認知していただけるように努めます。

重点実施事項

- ① くろゆりとハレマ2つの施設の一体的運用をしつつ、それぞれの持つ特色による活用と、利用ニーズに沿った環境の場を柔軟に提供していきます。
- ② 地域に情報を効果的に発信し、障がいやひきこもりなどの理解啓発を推進すると共に、新設したハレマの地域への周知を推し進めます。
- ③ ひきこもり支援において、多様な生きづらさを抱える方々への支援の学びを深めていくと共に、相談支援、関係機関との密な連携の中で、効果的な居場所支援となるよう努めます。

6 【相談支援センターなごみ】相談支援事業

基本方針

障害を持たれた方や生きにくさからひきこもり状態にある方、そのご家族の福祉や生活全般に関する相談に応じ、必要な地域情報の提供、サービスの利用支援などを、伴走支援で行う。また関係機関や地域との連携を取りながら、地域で安心して暮らせる支援体制の構築に

努めます。

重点実施事項

- ① 他市の事例等の情報収集を行い、多様な業種、他機関との話し合いを重ねる、相談支援の幅や相談体制の充実を図ります。
- ② 自立支援協議会への積極的な参加により、地域課題整理や資源開発に向けた活動を行います。
- ③ 各種研修会や事例検討会などの参加、また個々のケースを通じた他機関連携により、専門職としてのスキルアップを図ります。
- ④ 障害を持たれ方などや、そのご家族が、安心して話ができる相談の場作りに努めます。
- ⑤ ひきこもり支援の相談窓口であることを地域に知って頂く活動を推し進めます。
- ⑥ 当事者やご家族のニーズを逃さずキャッチしつつ、介入支援のタイミングに留意し、相談支援を進めます。
- ⑦ 地域の方々にもメンタルヘルスケアのための相談や啓発企画活動を行います。

7【相談支援センターはまかぜ】相談支援事業

基本方針

- ・ 障害を持たれた方やそのご家族の福祉や生活全般に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、その他の障害福祉サービスの利用支援等、関係機関との連携を取ながら、地域でよりよい生活を送れるよう必要な支援を行います。

重点実施事項

- ① 能美市の基幹相談支援センターを中心に相談体制や人材育成などの検討を行います。
また、地域生活支援拠点における協働体制の整備や重層的支援体についても基幹相談支援センター、行政と協議しより良い支援に向けて検討を行います。
- ② 人材育成としてグループスーパービジョンや事例検討会を通して、市内相談支援事業所の質の向上を図ると共に、スキルアップのための研修会の参加や自立支援協議会などにおいても人材育成に向けた研修などの企画を行っていきます。併せて市内外においても研修企画委員などに参加して自己研鑽に努め質の向上を図ります。
- ③ 地域移行・地域定着の実施に向けて、昨年度から対象利用者と定期的な話し合いをもち移行確認を行っています。今年度は病院とも連携しながら移行に向けて取り組んで行きます。
- ④ 自立支援協議会の運営に参加してその役割や取り組みなどを幅広く共有して、誰もが参加できる体制作りを目指します。地域課題の整理や取り組みなど、どのように行っていくか関係機関と連携をしながら進めていきます。
- ⑤ 自立支援協議会や個別のケースから得られた地域ニーズや課題を法人へタイムリーに情報提供を行い、地域づくりや法人の事業運営、人材育成などとリンクさせていきます。
- ⑥ 「くろゆり」や「りんく」と協力して居場所機能の充実をサポートします。

8【のみワークポートリンク】（共益事業—生活困窮者就労準備支援等事業）

基本方針

- ・ 自己有用感や意欲の向上を得られる関わりに努め、生活習慣改善や社会参加能力の向上により、就労に従事する能力を身につけられるよう支援します。また、ひきこもりや中高年齢者等、直ちに就労を目指すことが難しい方には、生活支援や他者との交流活動の機会や、併せて家族等への支援を含め、安心できる関係づくりを重視した支援に努めます。

重点実施事項

- ① アセスメントにより状況と課題を丁寧に把握し、セミオーダーメイドで有効なプログラムを展開します。
- ② 社会参加の足掛かりとして、自宅から離れ気軽に過ごせたり自己有用感を感じられる居場所 P o r t 機能の充実を図ります。
- ③ 自立相談支援や地域包括体制関係、障がい相談支援事業者など、重層体制関係者と連携を密にします。
- ④ 地域の働く担い手となるため、地域企業や個人事業主など就労環境の開拓、連携に努めます。
- ⑤ 生活困窮者やひきこもりの方の地域理解を推進するため、事業の取り組みの発信に努めます。

【その他】法人全体で取り組む事業

ア 地域への公益的な取り組み

- ① 地域へ向けて障がいの理解と啓発活動
- ② なごみ祭りの開催（年1回）
- ③ 地域の方々とのふれあいを通した交流事業
- ④ 地域のイベント、販売会などへの積極的参加
- ⑤ 地域の社会福祉法人との連携による地域貢献活動
（※のみ社会福祉法人連絡会：配食弁当事業、研修事業の実施ほか）

イ 情報発信

- ① なごみ通信の発行（年2～3回）
- ② ホームページやパンフレット、インスタグラムの更新
- ③ 利用者家族懇談会の開催（年1程度）

ウ 当事者会(青葉会)の支援

- ① 担当職員を配置し、交流会などの自助会活動を支援
- ② 障がいに対する理解と啓発活動を目的とする当事者発表
- ③ 青葉会能美支部新設への取り組み

エ 家族会「くろゆり会」との連携

- ① 担当職員を配置し、家族会との連携
- ② 情報提供を協力して実施

オ 「メンボラT o M oの会」との連携

- ① 担当職員を配置し、「メンボラT o M oの会」との連携
- ② 「メンボラT o M oの会」行事及び活動への参加協働

カ 業務体系

- ① 各施設の計画的な整備改修や設備保守、更新
- ② 法令順守徹底への管理体制整備
- ③ 災害や感染症 BCP（事業継続計画）見直し
- ④ 苦情、虐待防止など権利擁護体制の評価
- ⑤ 職員の健康管理体制の整備
- ⑥ 職員育成研修の実施や自己啓発のための情報、資格取得への奨励
- ⑦ 職員の安全運転意識の徹底と業務車両の整備

以上